

平成24年度 学校評価結果及び学校関係者評価

H25. 3. 21

兵庫県立八鹿高等学校

【学校経営の重点目標】

- (1)「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をそなえ、夢や志をもち、その実現に向けてたくましく生きる人間を育成する。
- (2)生徒の個性や創造性を伸ばすとともに望ましい勤労観や職業観を育む進路指導を推進し、生徒が主体的に自らの未来を切り拓く力を培う。
- (3)公共の精神や人権尊重の精神に基づき、互いを思いやり尊重し、命や人権を大切にすることを育むとともに、社会を構成する一員として主体的に行動する力を培う。
- (4)各部・各学年の連携を密にし、組織的・機能的に学校経営を推進する。
- (5)学校・家庭・地域との連携を深める中で、地域の伝統と文化に根ざした教育活動を充実させ、地域に期待される学校づくりを進める。

回答率 93.6%	上段：H24評価	平均 3.2
回答率 84.6%	中段：H23評価	3.1
回答率 79.5%	下段：H22評価	2.9

A：3.5以上
C：2.5以下

◎(4点)…適切である ○(3点)…ほぼ適切である △(2点)…あまり適切でない ×(1点)…適切でない

A(4点)…よくできた B(3点)…できた C(2点)…あまりできなかった D(2点)…できなかった

各項目の結果は(%)で表示

領域	評価項目	評価の主材料(例)	各項目の結果は(%)で表示							今年度の学校評価について				
			A	B	C	D	無	平均	校内評価	改善策	自己評価は適切か	改善策は適切か	コメント	
学校運営	学校の運営	機能的な校務分掌により協働体制が確立され、各部・学年間の連携がとれているか。また職員の提言や創意工夫が生かされる学校の運営がなされているか。	校務分掌 会議運営 連絡調整	30	68	0	2	0	3.3	B	職員会議は1時間以内ですませるよう務め、ほぼ達成した。一方で、校務運営委員会は昨年より多く実施している。今後も効率的な共通理解に努める。	3.8	4.0	統制がとれた良い運営がされている。会議は1時間以内を達成されたのは良いことです。校務運営委員会は数よりも質で効率的な理解を深めてください。
				15	64	18	3	0	2.9					
				13	68	16	0	3	2.9					
	開かれた学校づくり	学校からの情報発信(各種通信、HPの更新等)と家庭や地域からの情報受信が効果的に機能し、開かれた学校づくりが推進され、学校運営の充実・改善に生かされているか。	各種通信 ホームページの更新 オープンハイスクール オープンスクール 文化部合同発表会 地区懇、保護者会	50	48	2	0	0	3.5	A	学校だよりの発行回数を増やし、八鹿地域区長さんへも何回か届けた。文化部合同発表会には地域の方にも参加してもらった。今後も継続する。	4.0	4.0	地域の評価も確実に向上している。開かれた学校づくりは年々良くなっていると感じます。
				52	45	3	0	0	3.5					
学校運営	学校評議員、生徒、保護者、地域住民等の意見や要望を学校の運営に反映させることができているか。	学校評議員会 学校関係者評価 連絡協議会 地区懇、保護者会	41	45	14	0	0	3.3	B	学校評議員会と学校関係者評価委員会は合同で開催することとし、効率化を図る。	4.0	3.8	両会議の内容はあまり変わらないので良いと思います。	
				24	70	3	3	0						3.2
				16	58	13	7	6						2.7
職員の資質向上	実効性のある研修・研究が行われ、その成果が教育活動の充実に役立っているか。	各種職員研修 公開授業(授業見学) 研究授業 初任研	27	41	27	2	2	2.9	B	校内での公開授業は低調であった。一部の教員ではあるが、小中学校、高校の授業参観に行った。来年度は研究授業を実施したい。	3.5	3.5	小中学校における学力向上が課題。ぜひ小中の教員に刺激を与えてほしい。	
				18	46	30	6	0						2.8
				13	48	29	7	3						2.6
本校の将来構想	本校の教育ビジョンを全教職員が共通理解し、その実現に向けた取り組みを推進することができているか。	ビジョン委員会 各部・学年の取り組み	11	52	32	2	2	2.7	B	ビジョン委員会そのものを3学期になって初めて開催したため評価が低くなっている。来年度は平成27年度を見据えて定期的に開催したい。	3.3	3.8		
				6	70	21	3	0						2.8
				20	50	27	0	3						2.8

6	環境教育の推進	安全で快適な学校環境を整えることができたか。また、地域や地球の環境といった視点からの取組を充実させることができているか。	清掃活動・安全点検 省エネ・リサイクル PTCA清掃活動	30	55	16	0	0	3.1	B	PTCA清掃活動は参加者が増加し、効果があった。今後も続けたい。	3.3	3.3	
				24	61	9	3	3	3.0					
				23	64	10	0	3	3.0					
7	体験的活動の充実	地域と連携した体験活動を充実させ、各教科・科目の学習の成果の統合や、新たな発見による豊かな人間性の育成を図ることができているか。	インスパイアハイスクール ふれあい育児体験 ふれあい看護体験 PTCA清掃活動 文化部各種演奏・発表会 地域貢献事業	57	36	7	0	0	3.5	A	今年度は自然科学コース・部活動・希望者などの単位で特に小学校を訪問した活動を行い、学習成果を発揮できた。授業とのバランスに配慮しながら今後も充実させたい。	4.0	4.0	小学校等訪問し、憧れられる八鹿高校を目指して下さい。
				64	33	0	3	0	3.6					
				36	58	3	0	3	3.2					
8	学校行事の充実	多様な特色ある学校行事を通じて豊かな人間性を養うことができているか。	新入生オリエンテーション 修学旅行、球技大会 文化祭、体育祭 合唱コンクール	70	27	2	0	0	3.7	A	伝統ある行事を実施するための引き継ぎ等が充実しているため高い評価になっている。さらに、行事の意義を生徒に理解させたい。	4.0	4.0	更に生徒の自主的運営を。
				67	33	0	0	0	3.7					
				52	45	3	0	0	3.5					
9	文化活動の充実	文化活動を充実させ、芸術や伝統文化への理解を深めるとともに、それらを楽しむ心を育むことができているか。	文化祭、合唱コンクール 文化部合同発表会 芸術鑑賞	75	23	2	0	0	3.7	A	他校に比べると文化部の活動が充実している。今後は何かひとつでも新しいことに挑戦していきたい。	4.0	4.0	他校に比べ秀でていると感じます。
				70	30	0	0	0	3.7					
				68	29	3	0	0	3.7					
10	教育課程の改善・充実	生徒の興味・関心や進路希望に応じた教育課程を編成し、教育目標の達成に効果を上げているか。	類型・コースの特色化 新教育課程の構築	34	55	11	0	0	3.2	B	教育課程はほぼ完成した。今後は教科指導に工夫改善を加えたい。	4.0	3.8	
				30	61	9	0	0	3.2					
				20	58	19	0	3	2.9					
11	確かな学力	学習時間の確保とともに効果的な週末課題等により基礎基本を確実に定着させるとともに、コースや類型に則した特色ある学習指導を通して、学力を向上させることができているか。	シラバス作成 習熟度別少人数指導 成績評価の工夫 個に応じた指導 生徒授業アンケート 週末課題 部活動の時間厳守	20	57	20	2	0	3.0	B	習熟度別少人数授業、週末課題などに全職員で取り組んでいる。来年度は部活動の時間厳守などを通して集中と切り替えを図り、さらに学力向上に取り組みたい。	3.5	3.3	中学との情報交換・連携も視野に。
				21	61	18	0	0	3.0					
				10	68	13	6	3	2.8					
12	図書活動の充実	図書館の利用や図書委員会の活動を充実させ、人間性の涵養、学力・教養の向上、個の確立をサポートすることができているか。	図書館利用 広報・啓発活動	27	59	11	0	2	3.1	B	図書委員会を中心に、教員・1年生全生徒による図書推薦文の掲示などに取り組んだ。今後も図書館利用の促進に取り組む。	3.3	3.5	図書推薦文の掲示は素晴らしい取組です。
				27	58	12	0	3	3.1					
				26	42	29	0	3	2.9					
13	情報モラル教育	いじめやネットによる誹謗中傷といった今日的課題を克服する力を育成することができているか。	生活指導・教科「情報」における指導・保護者講演会	5	34	48	7	7	2.2	C	今年度は情報科の教員が転勤したため、全校的な取組が欠けた。来年度は年度当初に講演会を開催する。	3.3	3.3	講演会で終わらずにフォローの仕組み作りもお願いします。
				6	58	30	0	6	2.6					
				6	52	26	3	13	2.4					
14	規律と規範意識の確立	校則や生活面の指導方針を明らかにして統一した指導を行い、ルールやマナーを自ら守る意識を育てることができているか。	服装・頭髪・携帯電話 通学マナー 学校生活全般	18	61	18	2	0	3.0	B	校内での服装・頭髪・携帯電話等の違反は少なかった。今後も通学マナーも含めて指導を継続したい。	3.8	3.8	
				3	33	55	9	0	2.3					
				6	42	39	10	3	2.4					
15	特別活動の充実	生徒会活動、ホームルーム活動を通じて、生徒の主体性や人間関係の構築能力等を伸ばすことができているか。	生徒自治会活動 各種委員会 ホームルーム活動	25	59	16	0	0	3.1	B	生徒が主体的に活動できた。具体的な活動を通じて思いやりの心を育みたい。	3.5	3.8	
				27	67	6	0	0	3.2					
				20	61	16	0	3	3.0					
16	課外活動の充実	部活動を活性化させ、生徒の豊かな人格形成を促すことができているか。	文化部活動 運動部活動	64	30	7	0	0	3.6	A	多くの部が素晴らしい成果を上げている。一方でだんだんとけじめがなくなってきたという声もある。それらも含めて人格形成に努めたい。	4.0	3.8	部活動が盛んになることはいいことですが、そのためにいじめや指導者の体罰などあってはならない。
				67	33	0	0	0	3.7					
				45	42	10	0	3	3.3					
17	人権意識の高揚	人権意識を高める教育を充実し、共生社会の実現に向けた実践的な力を育成することができているか。	人権アンケート 人権ホームルーム 手話講座 ガイドヘルプ 特別支援学校との交流 施設訪問	25	55	18	2	0	3.0	B	人権アンケート・手話講座などに加えて、主に部活動単位で施設訪問を実施しており、体験を通して共生社会の実現に向けた力を養っている。	3.5	3.5	
				12	70	15	3	0	2.9					
				7	48	26	16	3	2.4					

18	職業観・勤労観の育成	卒業生や地域人材の活用、見学や体験活動を通じて、生徒の職業観・勤労観を高めることができるか。	先輩からのメッセージ OB進路懇談会 大学企業等社会見学 大学講義体験	45	45	9	0	0	3.4	B	今年度は1年自然科学コースが研究所企業見学に出かけた。今後も充実させたい。	4.0	3.3	但馬の多くの企業を知る機会を作って下さい。
				36	64	0	0	0	3.4					
				26	55	16	0	3	3.0					
19	主体的進路決定能力の育成	生徒一人一人の希望に応じた進路情報の提供や進路相談を充実させ、主体的な進路決定能力を高めることができるか。	進路ガイダンス 情報提供、進路相談	48	41	9	2	0	3.3	B	生徒には十分な進路情報を提供してきているが、保護者向けの情報提供が不十分であった。今年度の1年PTAによる進路研修会を充実させたい。	3.8	3.5	
				36	61	3	0	0	3.3					
				26	64	7	0	3	3.1					
20	指導体制と成果	進路指導体制を強化し、進路実現を効果的にサポートできているか。	進路指導体制 進路実績	39	48	11	0	2	3.2	B	高校入学時から進路を意識させる必要がある。進路指導部と1・2年学年団との連携を密にしたい。	3.5	3.3	
				36	58	6	0	0	3.3					
				23	61	13	0	3	3.0					
21	体育活動の充実	体力向上を目指した体育的行事の充実を図ることができるか。	体育祭、球技大会 クロスカントリー大会	45	48	7	0	0	3.4	B	いずれの行事も生徒が主体的に一生懸命に取り組んだ。12月の球技大会には3年生も参加しているが、けがも心配されるので検討を続けたい。	3.8	3.3	
				39	46	9	3	3	3.2					
				42	52	6	0	0	3.4					
22	心身の健康や安全に関する教育の充実	心とからだの健康に関する教育を充実させ、健康で安全な生活を実現する実践的能力を高めることができるか。	救急救命法講習 熱中症対策講座 保健講演会	41	55	5	0	0	3.4	B	系統的に実施する保健講演会が有効に機能し、いのちの大切さを実感させている。今後は日々の安全に配慮する力を養いたい。	3.5	3.5	
				18	76	3	0	3	3.1					
				23	68	6	0	3	3.1					
23	教育相談並びに特別支援教育の充実	生徒の内面理解に基づいて心の教育を充実させる取り組みができているか。特別な支援を必要とする生徒に適切に対応できたか。また研修によって力量を高めることができたか。	キャンパスカウンセラーの活用 教育相談委員会活動、特別支援教育委員会活動、日常の相談活動、面談、家庭訪問、地域の医療・福祉機関との連携	30	52	18	0	0	3.1	B	校内コーディネーターを中心に、具体的な課題の解決に当たり、効果を上げた。教員の研修には工夫を加えたい。	3.5	3.5	
				15	67	15	3	0	2.9					
				26	49	16	3	6	2.9					
24	確かな危機対応	感染症や警報等の緊急時にスムーズな対応ができているか。またそのシステムが構築できているか。安全・防災教育の推進ができているか。	感染予防・情報収集 生徒連絡・情報公開等警備 防災計画の整備 マニュアルの周知と訓練 校外連携	27	64	7	0	2	3.1	B	今年度はインフルエンザで1クラスが学級閉鎖をしたが、大きな混乱はなかった。油断をせずに校外連携も含めた訓練を実施したい。	3.5	3.5	
				30	64	6	0	0	3.2					
				26	62	6	0	6	3.0					
25	その他 職場環境の改善	勤務時間の適正化について取り組めたか。	超過勤務の縮減に向けた各種取組 (ノー残業デー・ノー部活デー等)	14	16	43	25	2	2.1	C	ノー残業デーはなかなか実効が上がらなかった。今後も健康で元気な職員による元気な学校づくりに務めたい。	3.3	3.0	私が携わってからの継続的な課題であり、工夫・仕組みづくりで先生に元気になっていただきたい。
				0	18	58	24	0	1.9					
				0	39	52	6	3	2.3					

学校関係者評価委員から全体についてのコメント

全体として極めて良好な教育活動が展開されていると判断している。学校だけでは解決できない、家庭や社会から発生する多くの課題もあり苦勞されていると思うが、間違いなく良い方向へ向かっており、更なる発展を期待します。年度末自己評価（校内評価）及び改善策は全般に適切であると思います。自己評価の回答率は年々向上しており積極性が窺えます。学校評価アンケート調査によると、校内評価委員も指摘されておりますが、①学校から保護者への連絡②施設整備の改善の評価が低い点が気になります。検討一考されたいと思います。地域のアンケートの毛塚は前年に比し全般に向上し、良い傾向である。地域との繋がりは大事であり、情報発信は効果的と考えます。非常に良い傾向での改善が、数字にも表れています。南但の学校を私自身キャリアフォーラム等で訪問することが多く、その中でも八鹿高校は校長先生を始め先生も生徒も非常に秀でたすばらしい学校だと思います。